

# 第8学年 社会科学学習指導案

日 時 令和5年12月13日(水)  
場 所 第8学年教室  
生 徒 計根別学園第8学年(男子9名, 女子8名)  
指 導 者 千野 泰聖

## 1. 単元名「明治維新」

## 2. 単元について

### (1) 教材観

社会科学では、3分野でそれぞれ領土問題について取り扱う機会がある。9学年の公民分野では、「国際社会の歩み」という単元で領土問題の学習が位置づけられている。国際社会の未来を義務教育最後の社会科学の単元で思考する。しかし、対立関係の現状を学ぶことにとどまり、子どもたちが自分事として領土問題を捉えることが難しいのではないかと考える。

そのため、本時では子どもたちが自分事で北方領土問題を捉えることができる工夫として「歴史的な根拠をもとに北方領土が日本固有の領土であることを説明しよう」という学習課題を設定した。

### (2) 生徒の実態

まず、北海道ふるさと教育アンケートの結果を以下に示す。

		質問1		質問2		質問3		質問4		質問5		質問6	
		人数	割合										
選択肢	ア	2	11.8%	4	23.5%	7	41.2%	10	58.8%	12	70.6%	7	41.2%
	イ	7	41.2%	4	23.5%	7	41.2%	6	35.3%	5	29.4%	10	58.8%
	ウ	5	29.4%	8	47.1%	2	11.8%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
	エ	3	17.6%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

地域への関心や愛着などに関わる、質問1・2では後ろ向きな回答が見られる。しかし、地域の行事に参加することでは前向きな回答が見られる。地域の行事に積極的に参加している様子もよく見られる。また、ICTの活用についても前向きな回答が多く見られ効果を実感していることがうかがえる。授業でも積極的にICTを使っていく。

### (3) 指導観

計根別学園では6学年の時に北方領土の学習を総合的な学習の時間でスタートしている。7学年の時には、社会科学の地理分野で領土問題を広く取り扱い北方領土問題がロシアとの間で起きていることを知る。これまでの学習を踏まえて、8学年では歴史分野で北方領土について学習を行う。体験的な学習や地理的な位置づけを学んだ上で歴史的な根拠をもとに説明することを8学年では目標に指導する。

計根別学園の子どもたちにとって、北方領土についての関心が高いとはいえないため、自分事として北方領土問題を考えることができるようにしていく。

◎単元の指導計画

時	学習課題	学習活動	知	思	態
1	○新政府の成立 「明治維新によって社会はどのように変化したのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇条のご誓文を読み取り、新政府の方針を予想する</li> <li>・版籍奉還、廃藩置県、身分制度の廃止を行ったことを理解する。</li> <li>・歴代内閣総理大臣を首相官邸のホームページから藩閥政治が行われたことを理解する。</li> </ul>	○		
2	○明治の三大改革① 「明治の三大改革は人々の生活にどのような変化をもたらしたのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1872年就学率が向上していることから何があったか予想する。</li> <li>・地券の画像を読み取り、地価の3%の税金がかかったことを知る。</li> <li>・徴兵令の免除規定からどのように兵役が行われたのか理解する。</li> </ul>	○		
3	○明治の三大改革② 「明治の三大改革の影響力をランキングにしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治の三大改革が人々の生活にどのような影響があったのか調べる</li> </ul>			○
4	○富国強兵と文明開化 「富国強兵と文明開化はどのような変化をもたらしたのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代の人々の生活の変化を画像から予想する。</li> <li>・殖産工業政策を政府がどのように行ったのか調べる。</li> </ul>	○		
5	○近代的な国際関係 「政府は、中国や朝鮮とどのような関係を結んだのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不平等条約は何が不平等だったかを考える。</li> <li>・岩倉使節団の目的が条約改正であることを知り、視察によって国内の改革の必要性を感じて改革を進めたことを理解する。</li> <li>・日本が他国のアジア諸国と結んだ条約が平等な条約かを考える。</li> </ul>		○	
6	○自由民権運動の高まり 「自由民権運動はどのような社会の実現を目指したのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民撰議員設立の建白書を読み取り日本に何を作ろうとしたのかを考える。</li> <li>・国会の開設を巡る問題が起きたことを知り、政党の党首を知る。</li> </ul>	○		
7	○立憲制国家の成立 「大日本帝国憲法はどのように成立し、現代に繋がっているのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法を「主権」「国民の権利」「議会」について読み取る。</li> <li>・自分で日本国憲法と比べてどちらがどうか考えて理由を説明する。</li> </ul>			○
8 本時	○領土をめぐる問題の背景 「北方領土が日本固有の領土であることを歴史的根拠をもとに説明しよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土に関わる条約を読み取り、国境線をワークシートに引く。</li> <li>・北方領土が日本固有の領土であることを説明する。</li> <li>・なぜ元島民が笑顔でビザなし交流をしているのか考える。</li> </ul>		○	

### 3. 本時案 ( 8 / 8 )

#### (1) 本時の目標

北方領土の領有に関する各国の主張を踏まえて日本固有の領土であることを歴史的史料をもちいて考察し、表現する。

#### (2) 本時の展開

	子どもの学習活動 (・) と教師の働きかけ (T1■, ST○)	指導上の留意点 (◎), 評価 ※支援が必要な児童への手立て
導入 9分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習を行う 7分 カフトで問題に解答する 北方四島の位置を確認する</li> <li>・様々な国の地図で北方領土の表記を見る 2分 日本と中国以外は北方領土がロシアであると表記されている</li> <li>■本当に北方領土が日本の国なのかを問いかける 日本の領土である 本当に日本の領土なのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎速やかに復習を行う</li> <li>◎クイズ形式で確認する</li> <li>◎アメリカなどの国の人に説明するためにはどうすればいいか問いかけて課題を設定する</li> </ul>
展開 30分	<p>課題 北方領土が日本の領土なのか。歴史的根拠を用いて説明しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①条約がいつ結ばれたのかタブレットで調べる 5分 <ul style="list-style-type: none"> <li>①日露和親条約</li> <li>②ポーツマス条約</li> <li>③サンフランシスコ平和条約</li> <li>④樺太・千島交換条約</li> </ul> </li> <li>②史料をもとにワークシートに国境線を引く 10分 <ul style="list-style-type: none"> <li>■日露和親条約は教師と生徒が協働で国境線を引く</li> </ul> </li> <li>③R80で北方領土が日本の領土であることを説明する 10分</li> <li>④teamsでR80を共有し、と思った説明にスタンプをつける 5分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎習っていない条約もあるため条約が締結された年号を中心に</li> <li>※わからない用語があるときのみインターネットで検索してよい</li> <li><b>思</b> 北方領土が日本固有の領土であることを史料をもとに書かれている。</li> <li>◎判断の基準 歴史的根拠をもとに説明できているかを基準に選ばせる</li> </ul>
まとめ 11分	<ul style="list-style-type: none"> <li>①元島民のビザなし交流の様子の画像を見る 9分 <ul style="list-style-type: none"> <li>■なぜ元島民の人たちが笑顔で交流しているのか問いかける</li> <li>・領土を返してほしいはずなのになぜだろう</li> <li>■生徒からでてきた疑問を9年生の公民につなげる 3分</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎争うことではなく共生の動きがあることを子どもの発言をもとにまとめる。</li> </ul>